

## 【効果促進事業】市営バス利用促進事業

1. 事業概要
- ①市街地内循環路線の試験運行を含めた市営バス運行体系の検討
  - ②利用促進チラシの作成
  - ③無料乗車チケット(市営バスを利用し、かつ、途中下車して、商店街等で買い物をした人を対象)の作成・発行

2. 目的  
(効果促進の内容)

現在の市営バスは、阿賀野市役所を起(終)点として、市内の主要な公共機関・医療機関・商業地が集中する水原市街地を一巡し、市内の各集落等と結ばれている。(全11路線・停留所数300余)

現状では、基本的に、水原市街地と各集落等とを線としてつなぐことを主眼としているため、一応、市街地を一巡して各集落等へ向かう形態となっているものの、市街地内の移動というものはあまり考慮されていない。

そこで、市街地内循環路線の試験運行を含め、まちなかでの移動を促進する運行体系を検討し、まちなか交流の促進を図るものとする。合せて、利用促進チラシの作成等市営バス利用ための情報提供を充実させ、また、商店街等で買い物した場合に無料乗車チケットを発行し、バス利用者が途中下車しても片道運賃が変わらない(100円)ようにすることで、市営バスの利用促進を図る。これらの市営バス利用促進策を、基幹事業である地方都市リノベーション推進施設(新病院)、地域交流センター、水原体育館の改修・整備、天朝山公園の改修、市道中学校前通り線整備の実施時期に合わせて、実施することで、まちなか交流・市街地活性化の効果を相乗的に高めることができる。

3. 実施時期及び事業費

	H27秋	冬	H28春	夏	秋	冬
①	→	→				→
②		○		○		
③	→	→				→
事業費	1百万円		1百万円			

4. 他省庁補助の有無

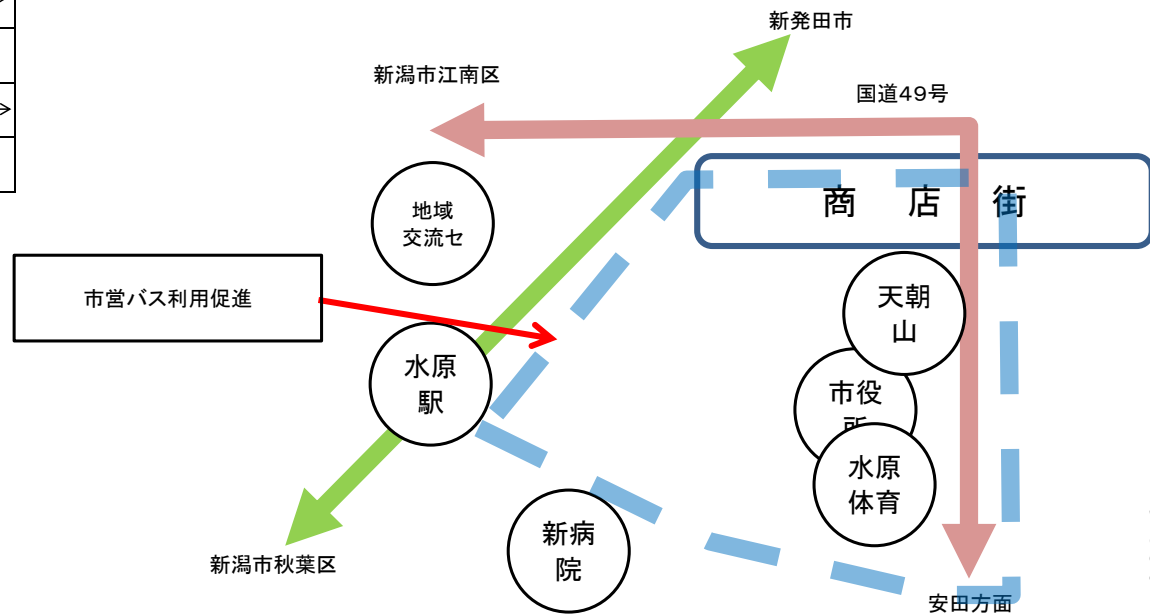
無

無

5. 要綱、協定の名称

無

6. イメージ図



## 【効果促進事業】バス待ち環境整備事業

- 1 事業概要 平成27年秋の新病院（地方都市リノベーション施設）開院に合わせ、病院エントランスホールに市営バスの発車時刻案内用のモニタを設置する。
- 2 目的（効果促進の内容） 病院利用者のバス利用の利便性を図るとともに、合わせて実施する市営バス利用促進事業（効果促進事業）により病院利用者をまちなかに誘導することで、市街地の活性化が図られる。病院は、まちなかで人の集まる大きな拠点であり、ここから商店街等への移動の利便性が高まることで、まちなかの活性化が図られるものである。
- 3 実施時期 H27年10月（新病院の開院時期に合わせる。）
- 4 事業費 0.6百万円
- 5 他省庁補助の有無 無
- 6 要綱、協定の名称 無
- 7 イメージ図

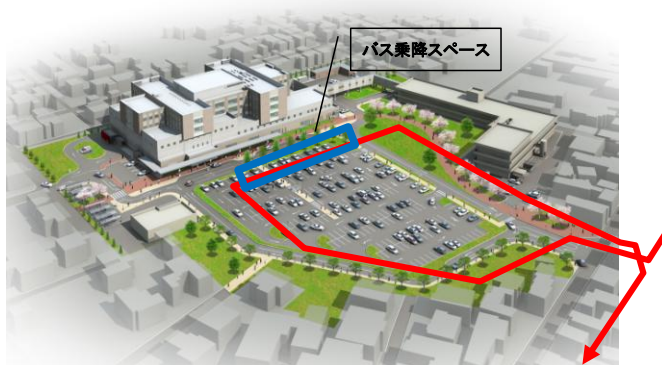
市営バス発車時刻案内用モニタの設置

路線名	運行番号	行先	発車時刻	のりば
駒林線	601	京和荘	09:35	②
大室線	501	あかまつ荘	09:40	③
神山線	951	笹神支所	09:45	①
駒林線	303	笹神支所	10:00	①
折居大日線	801	笹神支所	10:00	①
江端線	353	分田改善センター	10:25	④

※あかまつ荘の定休日（毎月第3水曜日）は、「安田支所-あかまつ荘」間を運休します（安田地域循環線を除く）。  
 ※学休日運休の運行は、12/24~1/7、3/25~4/4、7/25~8/31に運休します。  
 ※料金の支払い（各種手帳の提示）は、乗車時をお願いします。

松原市 市営バス（中線263）

新病院整備後の市営バスの乗降場所



エントランスホールの様子

